

目標 I だれもが“安全”に自転車ができる ～安全性の向上～

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成23年度の主な取組 (計画策定後の平成22年度の取組を含む)	目標達成状況 (重点事業/平成23年度末見込み) 平成24年度の方角性
-----	------	----------------	-------------------------------------	--

1 ◎ 新たな自転車走行空間の整備
→優先整備路線(16路線)において、道路状況に応じた自転車走行空間の整備を行う。

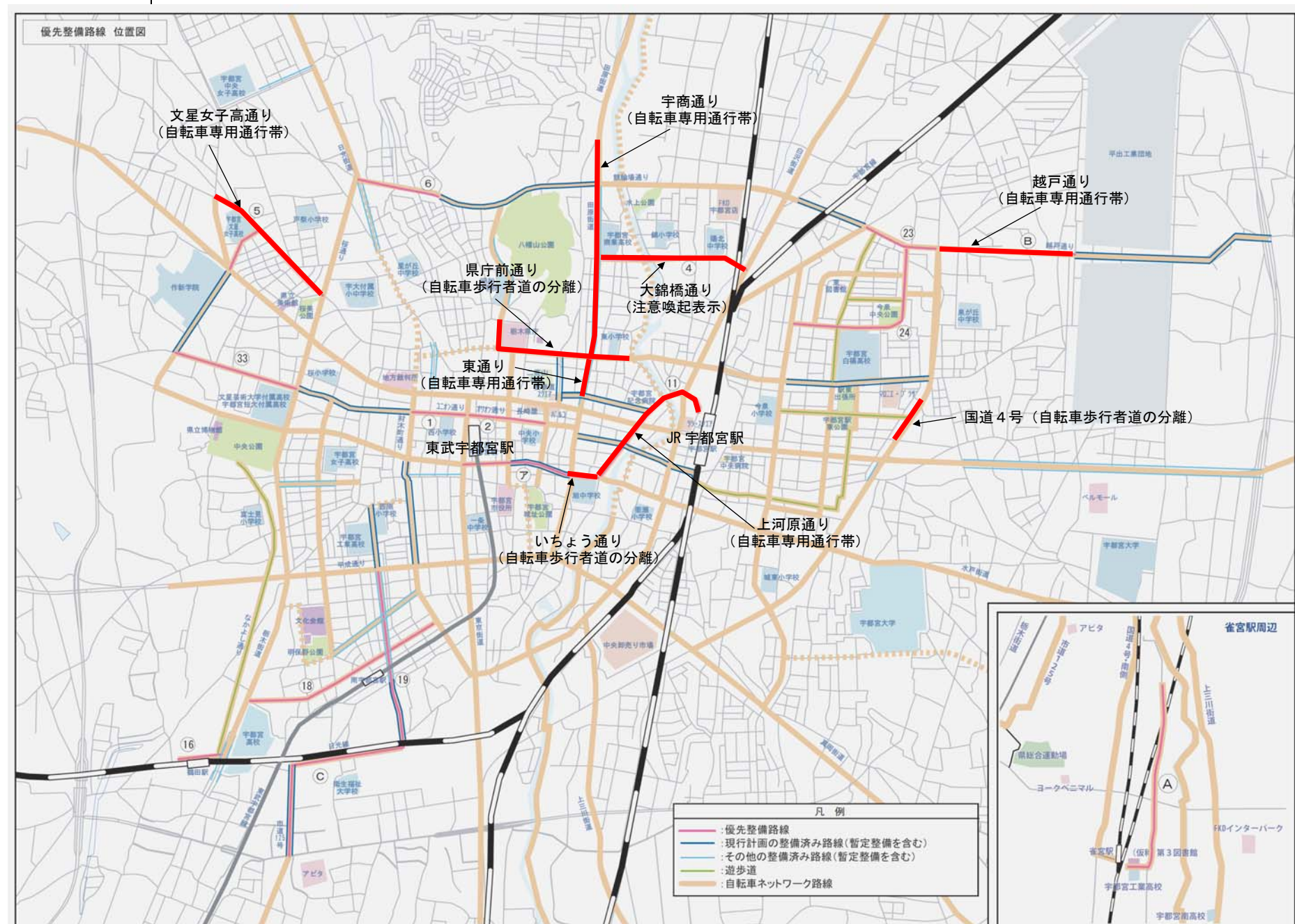
- 優先整備路線における自転車走行空間の整備
- <平成22年度>
文星女子高通り : L=1,000m (自転車通行帯)
 - <平成23年度>
越戸通り : L=960m (自転車専用通行帯)
上河原通り : L=860m (自転車専用通行帯等)
いちよう通り : L=160m (自転車歩行者道の分離)
大錦橋通り : L=1,100m (注意喚起表示)

【参考(国・県整備)】

- <平成22年度>
国道4号線 : L=300m (自転車歩行者道の分離)
宇商通り : L=1,500m (自転車専用通行帯)
- <平成23年度>
東通り : L=200m (自転車専用通行帯)
県庁前通り : L=700m (自転車歩行者道の分離)

目標達成状況		
策定時	H23年度末	目標(H27)
自転車走行空間の整備延長		
9.6 km	14.5 km	25.4 km

- 平成24年度の方角性
- 引き続き優先整備路線において、道路状況に応じた自転車走行空間の整備を推進していく。
 - 現在、国が策定を進めている「自転車利用環境創出ガイドライン」や交通管理者との協議などを踏まえながら、交差点部やバス停部などにおける安全性の高い整備を検討していく。
 - 「オリオン通り歩行者・自転車共存社会実験」の実施結果を踏まえ、安全走行を促す路面表示などについて中心市街地商店街等と検討していく。



2	<p>自転車サインの整備</p> <p>→サイクリングロード、駐輪場などを迷うことなく利用できるようわかりやすい標識などの整備を行う。</p>	<p>● 自転車サイン整備方針（施設・ルート案内）の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者が集まる施設（市営駐輪場、郊外型駐輪スポット、レンタサイクル貸出場所、モビリティセンター、自転車の駅）及びサイクリングロードを対象に、サイン表示の整備状況と課題を把握した上で、今後の自転車サインの整備方針を作成 <p>＜自転車サイン整備方針〔施設・ルート案内〕＞</p> <p>【整備内容】</p> <p>中心市街地：市営駐輪場、レンタサイクル貸出場所の案内サインの拡充 など</p> <p>郊 外 部：郊外型駐輪スポット統一サインの整備促進、自転車の駅案内看板、サイクリングロードの誘導案内の拡充 など</p> <p>【サインデザイン】</p>	<p style="text-align: center;">平成24年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自転車サイン整備方針」に基づき、自転車利用者にとってわかりやすいサイン整備を進めていく。 																					
3	<p>◎ 交通安全教室等の継続・拡充</p> <p>→幼稚園や保育園、小・中学校と老人クラブなどの高齢者を対象とした交通安全教室について、対象者や実施内容の拡充を図る。</p>	<p>● 「第9次宇都宮市交通安全計画」の策定と交通安全教室等の拡充</p> <p>平成23年6月に「第9次宇都宮市交通安全計画」を策定し、「中学校、高校での自転車の安全利用に関する取組の促進」「自転車の安全な利用のための街頭指導の実施」を重点施策に位置付け、計画に基づく施策を実施</p> <p>① 宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室</p> <p>交通ルール、自転車ヘルメット着用の重要性についての講話や自転車の乗り方を学ぶ実技講習など、宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室を実施</p> <p>② スケアードストレイト方式による交通安全教室</p> <p>自動車と自転車の衝突事故や道路交通法に違反する自転車の乗り方による事故などをスタントマンが再現し、交通ルールを遵守することの大切さを学ぶ交通安全教室を実施</p> <p>③ 自転車シミュレーター自転車教室</p> <p>地域の文化祭などにおいて、高齢者などを対象に、自転車シミュレーターを使った体験型の自転車教室を開催</p> <p>④ 成人への自転車交通安全教育</p> <p>市ホームページを活用し交通ルールに関する教材を掲載</p> <p>⑤ 子ども自転車免許事業、高齢者自転車教室</p> <p>⑥ 自転車の安全な利用のための街頭指導</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="background-color: #00FFFF;">目標達成状況</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">策定時</th> <th style="width: 40%;">H23年度末</th> <th style="width: 40%;">目標（H27）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">① 自転車安全利用教室導入学校数（年間）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">3校 (1,902人)</td> <td style="text-align: center;">16校</td> </tr> <tr> <td colspan="3">② スケアードストレイト実施回数（年間）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">5回 (2,494人)</td> <td style="text-align: center;">6回</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right; font-size: small;">※目標値は「宇都宮市交通安全計画」における施策毎の活動指標で設定</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">平成24年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車安全利用教室やスケアードストレイト方式の交通安全教室などの取組を継続していくとともに、「成人」への取組を強化するために大学での講話やホームページを活用した教育の充実を図っていく。 また、現在オリオン通りで実施している街頭指導について、地域住民や警察などと連携しながら、実施箇所の拡大を図っていく。 	目標達成状況			策定時	H23年度末	目標（H27）	① 自転車安全利用教室導入学校数（年間）			—	3校 (1,902人)	16校	② スケアードストレイト実施回数（年間）			—	5回 (2,494人)	6回	※目標値は「宇都宮市交通安全計画」における施策毎の活動指標で設定		
目標達成状況																								
策定時	H23年度末	目標（H27）																						
① 自転車安全利用教室導入学校数（年間）																								
—	3校 (1,902人)	16校																						
② スケアードストレイト実施回数（年間）																								
—	5回 (2,494人)	6回																						
※目標値は「宇都宮市交通安全計画」における施策毎の活動指標で設定																								



宇都宮ブリッツェン自転車安全利用教室



スケアードストレイト方式交通安全教室

目標Ⅱ だれもが“快適”に自転車が使える ～快適性の向上～

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成23年度の主な取組 (計画策定後の平成22年度を取組を含む)	目標達成状況 (重点事業/平成23年度末見込み) 平成24年度の方向性																									
4	◎	休憩スポットの創出 (自転車の駅) →自転車の連続運転による疲れを癒すとともに、簡単な自転車の修理等ができる休憩スポット (自転車の駅) を整備する。	● 休憩スポット「自転車の駅」の設置 サイクリングルート沿いの市内の公共施設や観光施設、コンビニエンスストアに、自転車修理工具や空気入れポンプ、スポーツバイク用駐輪ラックを配備し、各施設の機能や拠点施設「宮サイクルステーション」と併せて、様々な自転車利用をサポートする「自転車の駅」を設置 <設置施設> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>箇所数</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共施設</td> <td>7箇所</td> <td>河内地域自治センター 平石・清原・横川・城山・国本・豊郷地区の各市民センター</td> </tr> <tr> <td>観光施設</td> <td>3箇所</td> <td>梵天の湯, サイクリングターミナル, ろまんちっく村</td> </tr> <tr> <td>民間施設</td> <td>6箇所</td> <td>セブンイレブン (宇都宮石井東店・宇都宮インターパーク店・宇都宮森林公園入口店) ファミリーマート (宇都宮大曾店) ローソン (宇都宮東宿郷四丁目店・宇都宮柳田町店)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	箇所数	施設名	公共施設	7箇所	河内地域自治センター 平石・清原・横川・城山・国本・豊郷地区の各市民センター	観光施設	3箇所	梵天の湯, サイクリングターミナル, ろまんちっく村	民間施設	6箇所	セブンイレブン (宇都宮石井東店・宇都宮インターパーク店・宇都宮森林公園入口店) ファミリーマート (宇都宮大曾店) ローソン (宇都宮東宿郷四丁目店・宇都宮柳田町店)	 <p>「自転車の駅」に設置した修理工具等</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">目標達成状況</th> </tr> <tr> <th>策定時</th> <th>H23年度末</th> <th>目標 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">休憩スポット (自転車の駅) の設置数</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>16箇所</td> <td>36箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光施設やコンビニエンスストアを中心に、自転車の駅の設置をさらに推進していくとともに、既存施設を含め、事業のPRや誘導案内の充実などに取り組んでいく。 	目標達成状況			策定時	H23年度末	目標 (H27)	休憩スポット (自転車の駅) の設置数			—	16箇所	36箇所
区分	箇所数	施設名																											
公共施設	7箇所	河内地域自治センター 平石・清原・横川・城山・国本・豊郷地区の各市民センター																											
観光施設	3箇所	梵天の湯, サイクリングターミナル, ろまんちっく村																											
民間施設	6箇所	セブンイレブン (宇都宮石井東店・宇都宮インターパーク店・宇都宮森林公園入口店) ファミリーマート (宇都宮大曾店) ローソン (宇都宮東宿郷四丁目店・宇都宮柳田町店)																											
目標達成状況																													
策定時	H23年度末	目標 (H27)																											
休憩スポット (自転車の駅) の設置数																													
—	16箇所	36箇所																											
5	◎	鉄道駅周辺の駐輪場整備 →JR宇都宮駅周辺の市営駐輪場の定期利用待ちや周辺の放置自転車を解消するため、市有地や駅周辺の歩道上などを活用した駐輪場整備に取り組む。	● 鉄道駅周辺の駐輪場整備 <平成22年度> JR宇都宮駅東口第2駐輪場 (拡充) 1,700台 → 2,240台 (540台増) <平成23年度> JR宇都宮駅西口駐輪場 (拡充) 2,984台 → 3,224台 (240台増) 東武江曾島駅駐輪場 (市道上暫定駐輪場に代わる駐輪場の整備) 鉄道事業者と協議調整中	 <p>市営駅西口駐輪場の拡充 JR宇都宮駅 市営駅東口第2駐輪場の拡充 JR宇都宮駅周辺の駐輪場整備位置図</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">目標達成状況</th> </tr> <tr> <th>策定時</th> <th>H23年度末</th> <th>目標 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">鉄道駅周辺の駐輪場収容台数</td> </tr> <tr> <td>7,912台</td> <td>8,692台</td> <td>8,512台</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> JR宇都宮駅西口においては、今年度の整備後の駐輪状況を見極めながら、必要に応じてラック式駐輪場等の整備を検討していく。 東武江曾島駅駐輪場については、引き続き鉄道事業者と協議調整を行いながら整備を進めていく。 	目標達成状況			策定時	H23年度末	目標 (H27)	鉄道駅周辺の駐輪場収容台数			7,912台	8,692台	8,512台												
目標達成状況																													
策定時	H23年度末	目標 (H27)																											
鉄道駅周辺の駐輪場収容台数																													
7,912台	8,692台	8,512台																											
6		バス停付近への駐輪場整備 →主要なバス路線沿線において、道路幅員などの状況を踏まえながら道路上への駐輪場整備を推進するとともに、市有地や公共施設の活用を検討する。	● バス停付近への駐輪場のPRと整備検討 駐輪場が整備されているバス停を表示したバス路線マップを配布するなどのPRを行うとともに、市有地や公共施設を活用した駐輪場整備を検討 【参考 (県整備)】 <平成23年度> 弁天橋バス停：上り下りに各12台の駐輪場を整備	 <p>宇都宮バス路線マップ</p>	<p>平成24年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画に位置付けた検討箇所について、市有地や公共施設を活用した駐輪場整備を行うとともに、引き続き、栃木県やバス事業者などと連携しながら事業を推進していく。 																								
7		短時間駐輪スポットの整備 →放置自転車が多いオリオン通りなどの都心部において、中心市街地の主な来訪目的や自転車利用者のニーズに応じた短時間スポットの整備を行う。	● 短時間駐輪スポットの整備検討 歩行者と自転車の共存及び来街者のおもてなしの向上に向けた具体的な手法を検討するため、オリオン通りにおいて実施した「歩行者自転車共存社会実験」において、空き店舗等を活用した駐輪場を設置し、短時間駐輪スポットの整備手法を検討 <社会実験の実施内容> 実施日時：平成23年11月19日から11月25日 (7日間) 設置箇所数：路上4箇所、空き店舗1箇所	 <p>空き店舗を活用した駐輪場</p>	<p>平成24年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在取りまとめを行っている社会実験の実施結果を踏まえ、中心市街地商店街に対する補助メニューに短時間駐輪スポットの整備を追加し、整備を推進していく。 																								

目標Ⅲ だれもが“楽しく”自転車が使える ～観光やスポーツの推進～

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成23年度の主な取組 (計画策定後の平成22年度を取組を含む)	目標達成状況 (重点事業/平成23年度末見込み) 平成24年度の方向性												
8	◎	観光レンタサイクルの導入 →観光やビジネス等による来訪者のレンタサイクルの需要増加に対応するため、宿泊施設や観光施設、民間駐車場等と連携してレンタサイクルの貸出場所を増設する。	● 「おもてなしレンタサイクル」モデル事業の実施 平成22年10月から、市内ホテル6箇所と協力し、宿泊者を対象にレンタサイクルを貸し出す「おもてなしレンタサイクル」モデル事業を実施し、観光レンタサイクルの導入手法について検証 <利用状況(1年間)> 累計利用者数：904人(月平均75人) 利用率：10% おもてなしレンタサイクル	目標達成状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>H23年度末</th> <th>目標(H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">レンタサイクル拠点・利用者数</td> </tr> <tr> <td>4箇所 31,000人</td> <td>7箇所 33,000人(推計) ※1月末実績 28,288人</td> <td>10箇所 41,000人</td> </tr> </tbody> </table>	策定時	H23年度末	目標(H27)	レンタサイクル拠点・利用者数			4箇所 31,000人	7箇所 33,000人(推計) ※1月末実績 28,288人	10箇所 41,000人			
策定時	H23年度末	目標(H27)														
レンタサイクル拠点・利用者数																
4箇所 31,000人	7箇所 33,000人(推計) ※1月末実績 28,288人	10箇所 41,000人														
9		コミュニティサイクルの拡充 →市内4箇所(110台)の市営駐輪場で実施しているコミュニティサイクル(レンタサイクル)の拡充に取り組む。	● レンタサイクル貸出場所の追加と電動アシスト自転車の導入 ① 貸出場所の追加 中心部のJR宇都宮駅東口第2駐輪場、郊外部のJR鶴田駅、JR雀宮駅東口駐輪場を貸出場所に追加(各10台設置) ② 電動アシスト自転車の導入 新たに貸出場所に追加した駐輪場を含む7箇所の市営駐輪場において、利便性の高い電動アシスト自転車を55台導入、全体の設置台数を165台に増台 <利用率(1日平均貸出台数/設置台数)> ※10月21日～1月31日まで 全体：63%(駅東口第2：68%、鶴田駅：17%、雀宮東口：23%) 電動アシスト自転車：22%(最大は宇都宮駅西口と駅東口第1の30%)	平成24年度の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 観光レンタサイクルについては、「おもてなしレンタサイクル」事業を継続し、貸出場所の拡充や利用拡大を図りながら、最適な導入手法を検討していく。 コミュニティサイクルについては、今年度追加した貸出場所や電動アシスト自転車について積極的なPRを行うなど、利用の定着を図っていく。 												
10	◎	モビリティセンターの整備 →自転車利用者が多く集まる中心市街地や駅に、自転車利用・活用を促進する戦略的な拠点として、休憩や自転車の修繕が可能なスペースやシャワー施設の提供、スポーツバイクのレンタルなどを行う「モビリティセンター」を整備する。	● モデル施設「宮サイクルステーション」の運営 平成22年10月から、JR宇都宮駅西口にモデル施設「宮サイクルステーション」を設置、運営し、シャワー、ロッカー施設の提供やスポーツバイクのレンタル、宇都宮ブリッツェンと連携した「スポーツバイクセミナー」「ブリッツェンコミュニティ」などの様々な事業を実施 <利用状況(1年間)> 年間来館者数：7,320人(月平均610人) 利用登録者数：1,148人(市内37%、市外63%) レンタサイクル年間利用者数：903人(月平均75人) 宮サイクルステーション	目標達成状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>H23年度末</th> <th>目標(H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">モデル事業を踏まえ設定</td> </tr> <tr> <td colspan="3">平成24年度の方向性</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き事業を継続し、利用者ニーズを踏まえ、施設機能やソフト事業などの充実を図るとともに、利用者拡大に向けた周知・PRを行いながら、本格実施に向けて取り組んでいく。 </td> </tr> </tbody> </table>	策定時	H23年度末	目標(H27)	モデル事業を踏まえ設定			平成24年度の方向性			<ul style="list-style-type: none"> 引き続き事業を継続し、利用者ニーズを踏まえ、施設機能やソフト事業などの充実を図るとともに、利用者拡大に向けた周知・PRを行いながら、本格実施に向けて取り組んでいく。 		
策定時	H23年度末	目標(H27)														
モデル事業を踏まえ設定																
平成24年度の方向性																
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き事業を継続し、利用者ニーズを踏まえ、施設機能やソフト事業などの充実を図るとともに、利用者拡大に向けた周知・PRを行いながら、本格実施に向けて取り組んでいく。 																
11	◎	自転車マップの作成 →自転車による観光ルートやサイクリングロードを活用したサイクリングルート、自転車利用者に役立つ施設情報などを掲載した自転車マップを作成する。	● 「宇都宮自転車マップ」の作成 「走れば愉快ルート」や「癒して愉快温泉周回ルート」など、市内全体を「愉快テーマ」に沿って、それぞれの観光資源などを巡る10本のサイクリングルート、自転車の魅力や安全走行の重要性を伝える宇都宮ブリッツェンのコラムなどを掲載した自転車マップを2種類(中心部版、郊外部版)作成 <配付部数> 中心部版7,000部、郊外部版4,000部 <配付場所> 宮サイクルステーション、自転車の駅、市営駐輪場など 自転車マップ 中心部版(赤)・郊外部版(青)	目標達成状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>H23年度末</th> <th>目標(H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">自転車マップ配付部数</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>11,000部</td> <td>実績値</td> </tr> </tbody> </table> 平成24年度の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 配付場所の拡大や掲載内容の充実を図りながら、ジャパンカップ開催時期を中心に効果的な配付を行っていく。 	策定時	H23年度末	目標(H27)	自転車マップ配付部数			—	11,000部	実績値			
策定時	H23年度末	目標(H27)														
自転車マップ配付部数																
—	11,000部	実績値														

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成23年度の主な取組 (計画策定後の平成22年度の取組を含む)	目標達成状況(重点事業/平成23年度末見込み) 平成24年度の方向性
12		ジャパンカップのPRの実施 →ジャパンカップの開催に併せて、中心市街地においてPRイベントを開催するなど、ジャパンカップのPRを通じて、市内外に「自転車のまち宇都宮」をアピールしていく。	● 「WELLCOMEクリテリウム」の実施 ジャパンカップクリテリウムの開催に合わせ、オリオン通りをメインとした中心市街地において、来街者に「自転車のまち」「おもてなしのまち」宇都宮を味わってもらうための各種事業を実施 ① 自転車のまち推進事業 空き店舗を利用して、ジャパンカップや宇都宮ブリツェンのPR、商店街の情報発信等を行う「ブリツェンミュージアム」の開設など ② おもてなしのまち推進事業 スポーツサイクルの来街者に安心して回遊してもらうための空き店舗を利用した「街なか駐輪場」の設置など	平成24年度の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地全体のさらなる賑わいの創出や「自転車のまち」「おもてなしのまち」宇都宮のより一層の周知・PRを図るため、自転車関連企業・団体やメディア等との連携強化やイベント事業充実について検討していく。
13		自転車普及イベントの実施 →一般市民が参加できるサイクリングイベントを開催する宇都宮ブリツェンなどに対して、既存の公園施設の外周路や宇都宮競輪場を開放するなどの運営支援を行い、プロスポーツと連携して、自転車の普及促進に取り組む。	● 宇都宮ブリツェンによる「市民クリテリウム」の実施 <ul style="list-style-type: none"> 宇都宮ブリツェンが、道場宿緑地において、市民参加型イベント「ブリツェンクリテリウム」を2月26日に開催予定 イベントの開催にあたっては、道場宿緑地の外周路を活用できるよう、車止めの移設や未舗装部分のアスファルト舗装などを実施 	平成24年度の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 「自転車のまち宇都宮」のPRや自転車のさらなる普及促進に向けて、関係団体と連携しながら、「バイコロジーシンポジウム」の実施を検討していく。



ブリツェンミュージアム



道場宿緑地外周路とイベントチャリン



目標Ⅳ だれもが“健康とエコ”に自転車が使える ～観光やスポーツの推進～

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成23年度の主な取組 (計画策定後の平成22年度の取組を含む)	目標達成状況(重点事業)/平成24年度の方向性																		
14	◎	自転車モニター事業の実施 →自転車利用による健康増進や環境問題に対する意識の向上を図るため、自転車利用の効果を広く呼びかけるとともに、その効果を実際に体感してもらうための機会を提供する「自転車モニター事業」の実施を検討する。	● 自転車モニター事業の検討 今後の自転車モニター事業の実施に向けて具体的な実施手法を検討 ● その他事業の実施(参考) 高齢者の健康の維持・増進や介護予防を目的に、宇都宮ブリツェンの選手と一緒に、ストレッチや自転車を使った簡単な運動などを行う「いきいき健康自転車教室」を開催 <実施内容> <ul style="list-style-type: none"> 市内4箇所(河内地区、雀宮地区、清原地区、城山地区)で実施 65歳以上の高齢者を対象に、宇都宮ブリツェンの選手が自転車を使ったエクササイズなどを講習 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">目標達成状況</th> </tr> <tr> <th>策定時</th> <th>H23年度末</th> <th>目標(H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">エコ通勤実施企業数</td> </tr> <tr> <td>4企業</td> <td>4企業</td> <td>10企業</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">自転車モニター事業参加者数</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>実績値</td> </tr> </tbody> </table> 平成24年度の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 市民の意向を把握しながら、自転車利用による健康増進や環境問題に対する意識の向上を効果的に進めていくための方策を検討していく。 	目標達成状況			策定時	H23年度末	目標(H27)	エコ通勤実施企業数			4企業	4企業	10企業	自転車モニター事業参加者数			—	—	実績値
目標達成状況																						
策定時	H23年度末	目標(H27)																				
エコ通勤実施企業数																						
4企業	4企業	10企業																				
自転車モニター事業参加者数																						
—	—	実績値																				
15		モビリティマネジメントの実施 →企業従業員を対象としたモビリティマネジメント施策において、自転車走行空間や郊外型駐輪スポットの整備状況、自転車利用による環境や健康に対する影響などについて情報提供を行う。	● モビリティマネジメント施策における自転車情報の提供 田原街道沿線の地域住民と企業を対象としたモビリティマネジメント施策において、自転車利用の環境面、健康面での効果や自転車専用通行帯をPRするニュースレターを作成、配布 ※モビリティマネジメント 複数のアンケート調査や個人ごとの情報提供を行いながら、クルマと環境にやさしい公共交通や自転車との適切な使い分けを促す交通施策	平成24年度の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 今後のモビリティマネジメント施策の実施方針の検討と併せて、自転車通勤の推進に向けた自転車に関する効果的な情報提供について検討していく。 																		



いきいき健康自転車教室



自転車利用をPRするニュースレター